

# 支部だより

令和2年1月  
第82号

新年、明けましておめでとうございます。  
皆様におかれましては穏やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

支部では限られた予算のなかで公益社団法人として活動を続けています。昨年は、青年部による恒例の奉仕活動や2級建築士試験講習会、前年度から加わった尾上公民館事業のお手伝い、また、有志の方に地域で増え続ける空き家問題についての協議会に参加して頂きました。皆様も平素の業務の中で地域活性化に寄与されるべく努力されたことと感謝いたします。

昨今、NHKを始め日本メディアの報道は、井の中の蛙と申しましょうか、家庭内のゴタゴタを扱っているような風体で、親たちの都合で話題が進んでいるように思います。子供たちは事態の異常を感じてはいるが、あめ玉を口に放り込まれて、喋られないといった具合ではないでしょうか。親たちは私欲が勝ってしまって、子供たちの見つけた宝物すら吸い上げるのが日常となっていると感じます。もはや、親たちのお話は半分が正しいのでしょうか。

さて、経済的に苦しい事態にある我々ですが、マンパワーさえ整えば何だって出来ると言う小西支部長の励ましの下、本年度も事業を展開していきたいと思っています。街は相変わらずシャッター色の様相を呈していますが、表に出て歩けば出会いが喜びを生んでいます。お金があってもなくても“繋がり”は人々の救いの場となっています。

本年も、研修会や懇親会など皆様の出会う機会に、笑顔が咲き乱れるようお願い、活動を続けていきますので是非ご参加、ご支援、お引立てを賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

(副支部長 吉備考司)

## 県指定文化財斑鳩寺庫裏保存修理 工事見学会のご案内

斑鳩寺は聖徳太子が開かれた寺とされ、鶴林寺と並ぶ古刹です。境内の北側に江戸時代前期の大規模な庫裏が現存しており、県内でも最古の庫裏と思われます。築後370年が建ち、破損が激しくなったため、庫裏全体を覆う素屋根を設置し、平成28年から5年間の予定で文化財修理工事が実施されています。現在は解体工事が終了し、組立工事が行われています。解体工事と並行して、変遷や技法などの文化財調査も行われています。

加古川支部では、今回の修復工事に直接携わっておられる神戸建築文化財研究所の尾瀬様に文化財修復工事の現場を案内していただき、江戸前期からの庫裏の変遷について解説をしていただく機会を設けました。興味のある方、是非ご参加ください。お待ちしております。

記

1. 開催日 令和2年1月19日(日曜日)  
14時から
2. 集合場所 斑鳩寺境内駐車場  
(揖保郡太子町鳩709)  
現地集合解散当日の駐車場が分かる境内の案内図を希望者にメールいたします。
3. 参加費 500円
4. 申込先及び問合せ先(参加申込書あり)  
小西(090-7889-2626)  
E-mail: akitaka2yuuki3@leto.eonet.ne.jp  
尚、当日参加も可能です。

## 「新年会&新春ボーリング大会」 のお知らせ

今年もやってまいりました、令和最初のボーリング大会&新年会。今年も豪華景品を多数御用意させて戴いておりますので奮って、御参加の方宜しくお願い致します。(厚生委員会)

- 日時： 令和2年2月1日(土)  
17:30より 受付  
17:45 ゲーム開始  
19:15 新年会開宴  
宴会余興 ビンゴゲーム  
豪華景品多数
- 会場： 「ニッケパークボウル」  
加古川市加古川町寺家町269-1  
Tel (079) 427-8900
- 新年会： 「海鮮水産 加古川南口店」  
(JR加古川駅より徒歩1分)  
加古川市加古川町篠原町67-1  
Tel (079) 456-6821
- 参加費： 新春ボーリング大会 1,000円  
新年会 4,500円  
(非会員は実費となります)
- 当日連絡先 長尾 淳一 090-9216-2695  
080-8327-3880
- 令和2年1月25日(土)までに  
参加申込書により申込みをお願いします。

## ぎふ見学会

秋の紅葉が香る 10月26・27日に岐阜県多治見市、岐阜市、犬山市を見学しました。多治見焼きのモザイクタイルミュージアム「藤森照信」氏を中心に、公設民営の建材博物館の設計が始まり、世界中のタイルを活用した物件を検討。中でもガウディのタイル使いを理想とし、彫刻的造形能力から笠原町のタイル→焼き物→土へと、そんな連想で土を削った面に土器や小石が露出する発掘現場や土取場の光景をイメージし、2016年6月完成より女性のモザイクタイルを宝石に通ずる質を感じているのか、インスタ映え効果か見学者の勢いは絶えない。

引き続き、岐阜市新庁舎のバカでかい鉄骨の様相が10階まで組みあがったのを眼前に、みんなの森 ぎふメディアコスモス「伊藤豊雄」氏設計の2階建て大規模複合施設です。岐阜市長が同設計の「せんだいメディアテーク」を見学し「岐阜にもこんな施設が必要だ」との構想から2階の開架閲覧エリアは、波打つ木造の天井で覆われた空間で、床の輻射冷房と温度を抑えた空調により、わずかに感じる風が心地よくグローブの真上の可動トップライトを開ければ、足元の空気が天井へ流れていく。「小さな家」から「グローブ」へ。図書館長には岩手で県立図書館などを立ち上げた吉成信夫氏いわく、「図書館であっても心と体を開放できることが大切」と。構造はRC造とS造、木造の混構造。シエルの下部に型枠支保工の要領で仮構台を設置し、上部に@600mmでシエル構造「地元のヒノキの汎用材を現場で張り合わせ厚み高さが920mmにも達する」複雑な現象を単純なルールでつくる。230人収容のホールを併設し市民活動発表の場としフル活動中！泊りは落ち着いた佇まいの「長良川ホテルパーク」長良川演歌でおなじみ、眼前に鵜飼の船宿、直上に岐阜城を見上げ、織田信長の壮大なスケールを歴史と共に自然と文化を体感しました。最後は明治村です。京都市電でガタンゴトン、村内ガイドさんの元、帝国ホテル中央玄関・聖ザビエル天主堂等5丁目から3丁目まで踏破出来、とても満足でした。明治時代の全国の貴重な歴史的建造物の永続的な保存のため、ここに集約されており構造・意匠等非常に考えさせられました。

次回の見学会を楽しみに、研修委員会ご関係の皆様にはお世話になりました。

(副支部長 坂上 浩司)

## 「つながろうプロジェクト in 北播磨」に参加して

11月9日(土)、本部企画の「つながろうプロジェクト in 北播磨」に参加しました。

つながろうプロジェクトは、とかく支部単位の活動がメインで支部の枠を超えた会員交流が希薄

となっていることを解消しようとはじめられた事業です。

今回が2回目で、明石、淡路、神戸、三田、南但、阪神、姫路、北播、加古川の9支部から35名の参加がありました。さわやかな秋晴れの日、昼食時の交流会を挟んで三木市本町の町家3件と小野市の浄土寺を見学しました。

浄土寺では、宮大工でもある姫路支部の西嶋支部長さんから国宝とはその時代を代表する1点ものであること。浄土寺浄土堂は東大寺の南大門、開山堂と同じ大仏様(天笠様)建築の代表遺構として大変貴重であることなど、その様式の特徴、ディテールの解説をしていただきました。堂内には鎌倉時代の名仏師快慶作の巨大な三尊立像が須弥壇上に立っておられ、背面の部戸からの西陽が堂内を赤く染めていました。

浄土信仰の「阿弥陀如来様が雲に乗って西方浄土からお迎えに来る」を体験されたい方は、是非、夕方、堂内に入れ阿弥陀如来様の前にお座りください。合掌。(支部長 小西 敏文)

## 第38回近畿建築祭 奈良大会 報告

11月30日に奈良春日野国際フォーラム 薈において第38回近畿建築祭奈良大会が開催され、たくさんの建築士の方が来られていました。

会場が能楽ホールと減多に見る機会のない面白い空間で行われました。

昨年までは近建青に出向していましたので、久々に参加者として第1部の地域実践活動の報告を聞いていました。参加者として参加するのは楽で良いですね。

また、協賛企業ブースにおいてはスタンプラリーを行い、一定個数以上で景品が当たるなど面白い工夫も見られました。

記念式典では、次回開催地大阪への引継ぎがあり、第2部の建築文化講演会は、『映画と建築』と題して、映画監督の河瀬直美氏のお話を、自分とは全く違った感性で面白く聴かせていただきました。

その後、懇親会まで参加して、久々の方々とも懐かしく過ごさせていただきました。

色々面白い話が聞けたので、こっそり周ってみようと思います。

(青年部会部会長 阪口 晴彦)

## 青年部情報 (青年部会)

### FORZA 開催

11月24日(日)一時危ぶまれた天気にもどうか恵まれ、例年開催の若い夢フェスティバルで“ちびっこ木工体験教室”を開催しました。

オープン少し前から既に参加希望者が来られ、その後は受付で記名の為に行列になるほどの人気

ぶりです。皆、普段なかなかする事ができない工作に夢中になり、一日中会場が空く事なく満員の状態が続いていました。親子でノコギリや金槌を使い、椅子やボックスを一生懸命作っていました。慣れないもので、真っ直ぐに切れなかったり、釘を打ってもズレてしまったりそれでも必死に頑張っている様子は微笑ましいと思いました。どのように組み立てるとカタチになるか悩んでいる親子のお手伝いをするもありますが、少し手助けするとすぐにコツを掴んで、女の子でも上手に作る子もあり、子供の柔軟性にも関心しました。

また、小さい子供たちはマジックで板材に絵を書いて持ってくるのでジグソーや丸鋸等でカットの手伝いをするのですが、かなり複雑な形を書いてくれるので、こちらも必死です。カットの後は準備している飾り付けをボンドで貼り、楽しんでいる様子でした。

あっという間に時間も閉会に近づき、大きなケガもなく終了する事ができました。集計では173名もの子供たちが参加して下さいました。今後の課題も色々見えましたが、来年に活かしていけるものと思います。建設業界全般に後継者問題や、成り手不足が深刻化している昨今ですがこうした活動から、モノづくりの楽しさを学び、いずれは建築の分野に進んでいく子供たちがいれば幸いです。

片付けの後は、青年部の忘年会を行いました。

小西支部長も参加して下さい、山本企画情報委員長の熱い思いもお聴きしつつ、料理やお酒を頂きながら更に親睦が深まったのではないのでしょうか。今回は担当リーダーをさせて頂きました。

皆さんご協力ありがとうございました。

最後に、この度も資材提供に協力して下さった昭和住宅様・宮宅建設様また、イベント前後も含めて協力して下さいました他団体の方々、オブザーバーの方々にも感謝致します。

次年度の活動にも、引き続きご協力宜しくお願い致します。

(青年部会副部会長 金尾 祥吾)

11月24日(日)は加古川市役所前にて若い夢フェスティバルがあり、私も午後から微力ながらお手伝いで参加させて頂きました。

今年は同日に明石や姫路で大々的なイベントが行われていたためか、例年よりも会場全体の来場者数は少し落ち着いているように見受けられました。ですがそんな中にも関わらず、建築士会さんのブースには常にお客さんが来て賑わっており、ブースとして人気の高さが感じられました。

木工というと工具や材料を揃え、なおかつ音も考えると場所を選ぶものなので、普段やってみたくてもなかなか気軽にはできません。ですが、ここでは山のように積まれた木材から好きなものを選び、思う存分工具も使える点がとても魅力的だなと思いました。

今回も子ども達が目を輝かせて宝探しのように自分の使いたい材料を探し、思案しながら親や兄弟と一緒にぎこちなくも思い思いに作っている様子が印象的でした。

自由度の高い木工ができる事と、それを程よい距離で見守られている建築士会さんがいらっしゃる事で、これだけ楽しく居心地の良いブースになっているのかなと、お手伝いをしていて感じました。

この場所に来た誰もが今日を振り返った時に、楽しく充実した素敵な思い出になっているのだろうと思うと、また来年もこのブースがあるといいなと思いました。

(ボランティア 中川 朋美)



## 建築士会青年部研修旅行

in鳥取・島根



11月2・3日加古川支部青年部会は鳥取県へ研修旅行に行ってきました。

最初に向かったのは鳥取城跡と仁風閣です。鳥取城跡は城跡ですのでお城はありませんが、城跡に洋風の建築物が建っており、それが国の重要文化財である仁風閣です。明治40年(1907年)に建てられた仁風閣は木造2階建ての瓦葺で外観は白を基調としており目を見張るものがありました。この庭園の片隅に宝扇庵があり、和の佇まいが良い感じでありました。ただ、アルミサッシに代わっているのが残念に感じました。

昼食後は鳥取東照宮に向かいました。鳥取東照宮は樽谿(おうちだに)神社とよばれていた事も

あり、現地では樗谿と書かれている看板もありました。こちら重要文化財に指定されております。

その後、少し足を延ばし、倉吉市の打吹玉川伝統的建造物群保存地区へ向かいます。通称は白壁土蔵群。その名の通り、小川沿いに白壁の土蔵が並んでおり、いい雰囲気での通りでした。蔵の中は当時の面影を残しつつ、綺麗に改装されておりました。

この日最後は、宿泊先でもある境港マリーナホテルへ向かいます。ここは菊竹清訓の設計で、1985年に建てられました。魅力的な建築物ではありましたが、オーバーハングされた階は利用されておらず見る事が出来ませんでした。また、5階はレストランとして利用されておりましたが、手入れの行き届いていない窓が残念でした。客室からの日本海は良い眺めでしたので、食事をとりながらの日本海はより良いものになったと思われまます。

2日目の最初の目的地は江島大橋。こちらは車のCMでも使われておりましたので、ご存知の方も沢山おられると思います。構造物としても立派な記録を持っており、

中央支間長は250mとなっております。近くから見た江島大橋は勾配も精々6.1%ですので、期待していた程では無かったのですが、少し離れた場所からの江島大橋は期待以上のものがありました。見に行かれる方はコンビニの駐車場から見学される事をお勧めします。

そして最終目的地は国宝松江城。黒い下見板張りの外観は姫路城等の白い外観とは違い堅牢な印象です。内部も見学させて頂きましたが、私が無知ゆえ、地階の貯蔵室（倉庫）や井戸、石落とし（外敵に石を落とす為の穴）の構造に感動しました。

あっという間に過ぎた2日間。今回の研修旅行の企画を担当させて頂いたのですが、準備も中々出来ず沢山の方にご心配とご迷惑をおかけした事と思います。また、色々アドバイス等も頂きました。とても感謝しております。個人的にはとても有意義な2日間でした。有難う御座いました。  
(青年部会副会長 杉山 和馬)



研修旅行を男9人で楽しむことができました。最初に

鳥取城に向かいました。予定にはありませんでしたが、わらべ館の駐車場に車を止めることになったのでついでに、わらべ館の独特な外観や、カーテンウォールの見学を行い、その後鳥取城の大きな外堀と仁風閣を某アニメをこっそり思い出しながら見て回りました。鳥取城の後は、鳥取東照宮の見学をしました。東照宮の周囲の気持ちのいい自然と、そこに調和した重要文化財である本殿は、心とませると共に、細やかな細工を見学しました。次に向かった倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地域では、ソフトクリームを食べ歩きしながら町全体の白壁の街並みを散策しました。初日の最後は、ホテル境港マリーナに宿泊しました。円柱形の独特の形状の建物で、レストラン部分が展望兼用になっており、そこそこの景色を楽しみながら食事をする事もできました。

2日目午前は、松江城に行ってきました。黒塗の外観は、雄々しく、内部も階段はとても急で住居性よりも、戦闘に重点を置いた設計で建設された時代背景も感じることが出来ました。

研修旅行全体として、天候にもめぐまれ、顔見知りだけということで気兼ねなく楽しい旅行になりました。

(青年部会 太秦 篤史)



今回建築士会に入会して初の1泊2日の研修旅行でした。初日、まずは鳥取仁風閣一見して感じたのは、洗浄して、ケレンして、下塗りして、...と建築物の歴史・造りより、外壁塗装をして保存状態を良くした方がと思うくらい外壁が傷んでいたため、職業病というのは恐いものです。仁風閣を後に、次に向かったのは鳥取東照宮、こちらもまたなかなかの寂れ具合で京都や奈良の有名な神社仏閣のように綺麗に保たれているわけではないのですが、逆にその寂れ具合がいい雰囲気風情ある建物でした。その後、道の駅・倉吉市の伝統的建造物群保存地区を周り境港にあるホテルエリアに到着、道一本挟んで海があり、部屋からの眺めは良く要塞のような造りのホテルです。2日目はベタ踏み坂でしられる江島大橋、島根の松江城を観光し途中道の駅にて解散。このまま帰るのかと思いきや一緒の車で帰っていた、松本さん

うどんを食べに行きたいなあという話になり、急遽番外編として香川うどんツアー開催、最後は、なかなかハードでしたが、うどんも美味しかったし、青年部の皆さんのまだ知らない一面も見られたので良い思い出になりました。(永田 康貴)



## 青年部会忘年会に参加して

11月24日(日)東加古川駅前の居酒屋で青年部会忘年会が催されました。この日は、加古川市役所前広場で若い夢フェスティバルが開催され、青年部会は恒例の親子木工教室を行いました。忘年会の前に開かれた第8回運営会議では、173名の参加者があり、盛況であったが、3名の子供が道具により軽傷を負った反省などが報告されました。忘年会には、親子木工教室の応援に来られた明石支部の山本さん、北播磨支部の吉元さん、それと3人のギャル(会員のお嬢さんたちとサポーター)も参加していただき、総勢16名の賑やかな宴会となりました。

今年も、2級製図講習、加古川楽市、若い夢フェスティバル、忘年会と、どこの支部よりも活発にそして楽しく活動していたと思います。これからも先ずやってみるの姿勢で、楽しい活動を期待しています。(支部長 小西 敏文)

## 2級建築士設計製図講習会

結果は…全員合格。ありがとうございました。

9月の製図本試験終了から3ヶ月12月5日午前10時 合否の発表である。

発表前日から何故か落ち着きがなくなる。本試験終了後、生徒からのエスキースが届く。それを添削すれば大凡の合否の目安となる。

今年の本試験問題は特に目新しい条件もなく又、

引っかけも無かった。うちのオリジナル問題の方が難易度は高いと感じた。エスキースをチェックしてみた感じでは、最悪合否は半々かな…と予想した。

阪口君・東田君コンビが作る問題そして厳しい添削、長尾さん・永田君の現実と試験のギャップを埋める的確なアドバイス。新入会した前野さんの丁寧な解答例。そして生徒さんの頑張り…全てがこの日に結果として顕れた。

で…松本…オマエは何をしとったんや?…わしや熱中症と痔と尿路結石でずっとヘタってましたとさ…。(松本 有司)

## 新入会員の挨拶

この度、建築士会へ入会しました前野しのぶと申します。

2年前から青年部会主催の製図講習を受講し昨年、2級建築士に合格することが出来ました。エスキースが苦手な製図を描くことが嫌いでしたが、製図講習に参加して凄く好きになりました。まだ建築士としては駆け出しですが、活動のサポートに参加できればと入会を決めました。

大人数が少し苦手ですので、他の活動への参加は中々難しいですが、それでも少しずつ活動範囲を広げ、様々な方々と交流をし、沢山のことを吸収していければと思っていますのでどうぞ宜しくお願いします。(青年部会 前野 しのぶ)

## ええはなしやん 第57回



## 「第1回職業講演会」

去る6月28日(金)県立東播工業高等学校に於いて土木科三年生を対象としたの講演会を開催しました。

この講演会は東播工高土木会(土木科同窓会組織)と加古川支部青年部会との協同開催として企画し、講師には、日展の木工部門の入選作家でもある加東市在住の工芸(木工家具)作家の岡田貴幸さんをお願い致しました。

内容は、ご自身が働き始めた頃から木工を志した切っ掛け、修業時代から独立~現在に至るまで好きなことを仕事とする上での面白味や大変さ等、体験したからこそ発せられる言葉に生徒達は真剣に聞き入っていました。途中、質疑応答の時間も設け丁寧な受け答えで対応されていました。

また当日は、日展入賞作品や椅子など数点を持ち込み展示していただき生徒達だけでなく先生方(土木科・建築科)もその作品の出来映えに感心されておりました。講演時間は1コマ(50分)だったので早々に時間が経過し、無事第一回目の

## 編集後記

「職業講演会」も幕がおりました。  
終了後に生徒達にアンケート（感想）を書いていただきました。  
岡田さんは講演前にこうおっしゃいました。  
「僕の云いたいことが伝わるやろかな～」岡田さんの不安は杞憂に終わったようです。  
来年度も「第二回職業講演会」開催予定です。  
こういう活動も少しづつ輪を広げていきたいと思えます。  
（松本 有司）

毎回慌ただしく『支部だより』をまとめていますが、今回は、青年部会特集のような号になりました。それだけ活発に活動をしているということであり、阪口青年部会会長の下、良くまとまっているんだなぁと感じています。

本来なら、新年のあいさつは、毎年支部長のあいさつから始まっていましたが、小西支部長には複数の記事をいただきましたので、支部長指名で、広報委員会担当の吉備副支部長が代わって、新年のあいさつを書いて頂くことになりました。

“ええはなしやん”も57回となりました。今回は、松本様から頂いた記事が“ええはなしやん”と読んでいて感じたので、勝手に“ええはなしやん”として、載せさせていただきました。

会員の皆様からの“ええはなしやん”を載せていきたいと思えますので、情報をぜひお寄せください。

（広報委員会委員長 高橋 賢吉）

---

## 連絡・参加申込書

メールかFAXで送付してください。（郵便も可）

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。（個人情報保護法に基づき管理致します）

事業名	参加者氏名	連絡先電話	非会員 表記欄
新 春 ボーリング大会	氏名	電話	
新 年 会	氏名	電話	
県指定文化財斑鳩寺 庫裏保存修理工事 見学会	氏名	電話	

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部  
事務局／吉備建築設計室内 Tel,Fax 079-423-6350  
支部長 小西 敏文 直通 TEL：090-7889-2626  
E-mail：kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com



# 支部だより

令和2年4月  
第83号

## 新年度のご挨拶

桜の花が待ち遠しい今日この頃ですが、会員の皆様方におかれましてはご健勝のこととお喜びいたします。

しかし今、世界的にコロナウイルスが蔓延し私たちの生活にも大きな影を落としています。五輪でさえ開催延期を余儀なくされ、身近ではマスクやトイレットペーパー等が店頭から見え買えない、毎年恒例のお花見にも自粛モードを漂わせています。建築現場にも中国産製品や資材の流通が滞り、工事の進捗に多大な影響を及ぼしています。まだまだ終焉とはそう簡単にはいかないようです。

私たちにできることは感染防止に務め、自身や家族の健康維持に最大の関心を傾けなければなりません。「密閉、密集、密接」を避けることが何よりのようです。

このようなご挨拶をしておきながら会員集会のご案内をしなければなりません。

来る4月18日18時より加古川総合庁舎2階会議室A・B会場で支部総会を開催いたします。

時節柄ご自身の保身が第一ではございますが、年に一度多くの会員が顔を合わせる貴重な機会です。お一人でも多く元気な顔をそろえることができればと担当理事は準備を進めておりますので、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

(副支部長 秋田 克司)

## 令和2年度 第57回 加古川支部通常総会

通常総会は、4月18日(土) に開催します。

場 所：兵庫県東播磨生活創造センター  
(東播磨県民局) 会議室A・B  
079-421-1136

総 会：18:00より(受付は17:45～)

懇親会：新型コロナウイルスの関係で、今回は開催を見合わせます。

※ 1階入り口の消毒液をご使用の上、会場内ではマスクをご使用ください。

※ 同封の出欠はがきを4月8日(水)までに、ご投函ください。

※ 出欠にかかわらず委任状は返送願います。

## 「新年会&新春ボーリング大会」 のご報告

2月1日に加古川支部ボーリング大会と新年会が開催されました。

去年の4月から建築士会に入会した私にはどちらも初参加で楽しみでした。

ボーリング会場に着くと各レーンにエントリー済みで、これが素晴らしかったです。今までの支部でのイベントでは、なんとなくというか自然に、年代別に分かれる感じで、同じ会場にいながら先輩方が遠くに思っていたので。

世代もごちゃまぜのメンバーで、ボーリングに一喜一憂してハイタッチしたりして、新鮮で、すごく楽しかったです。

そのおかげで、まさかの優勝してしまいました。

その後の新年会でも、スピーチで自分の事を少しでも知ってもらえたので、優勝できてよかったです。

ただひとつ残念だったのが、ボーリングが上手だと聞いていた長尾先生が手を負傷して見学だったので、来年は長尾先生も参戦した中で、連覇を狙ってみたいですね。

(高橋 章二)

令和2年の新年会が2月1日ニッケパークホールでの新春ボーリング大会の後、会場を加古川駅前の「3代目網元魚鮮水産」に移して行われました。

支部長のご挨拶では、去年にも増して活発な行動をしようとおっしゃられました。

その後、各会員同士の歓談も盛り上がり、恒例のビンゴゲームとなりました。

今回の記事を私(斉藤和幸記者)が書いているということは、ご承知の通り、一番くじを引いてしまいました。賞品としてネスカフェのバリスタを頂きました。

有難うございました。

和気あいあいと過ごすなか、宴たけなわとなり宴席は閉じました。

参加できなかった方も次回はお越しく下さい。

(斉藤 和幸)

## 「県指定文化財斑鳩寺庫裏保存 修理工事」見学会に参加して

1月19日（日）加古川支部主催のみだしの見学会に参加しました。参加者は13名でした。

この工事は、設計監理：神戸建築文化財研究所、施工：藤木工務店、施工協力：根本興業社寺にて実施されています。

この見学会は、設計監理に直接携わっておられる加古川支部・理事の尾瀬耕司さんに、現場の案内・説明をして頂きました。当日は、寒さも和らぎ、絶好の見学日よりとなりました。



斑鳩寺は、加古川の鶴林寺と並び、聖徳太子が開かれた寺とされています。

また、私としてもなつかしいところです。というのは、この北西側にある斑鳩保育園は私の孫が3年間お世話になったところで、発表会等のイベントがあるたびに足をはこんでいました。その際に、この寺の三重の塔や聖徳殿などの屋根が目に入っておりまして。また2、3度拝観もしてありました。

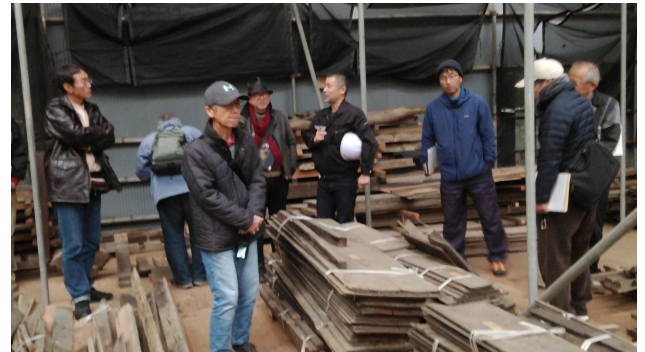


この度、境内の北側にある庫裏が江戸時代前期に建てられてから、370年が経過し破損が激しくなったため、御祈祷所、表門とともに文化財修理工事を行っています。平成28年度から令和3年度までの工事予定です。

現場とは別の仮設小屋に、使用されていた部材が解体され、それぞれの箇所にもとめて整理されています。

大きな素屋根で覆われた庫裏の保存解体工事の現場では、壁土が取り払われ、柱や横架材等の修理の仕方、耐震工事の様子も見る事ができます。上階の足場から屋根を見下ろしながら、工事の進捗状況を垣間見ることができました。この解体工

事に並行して、変遷や技法についてなどの文化財調査も行われ、復原方針を検討しているとのことでした。



いつも思うことですが、これらの社寺建築の保存修理工事は長期間に及ぶことが多く、工事建物の倍以上の高さのある素屋根が組まれて、風雨を避けることはもちろんのこと、換気や採光等、工事現場の環境にも配慮がされています。（その他一般工事においても同じですが）この素屋根工事は、稲美町の業者さんの施工によると聞いています。



文化財の保存修理工事は、その建物の歴史及び解体した一つひとつの部材の痕跡から、建築当初からの変遷等を判断しながら、〈改修の進め方〉〈今後の使い方〉〈そして文化財としての価値を高めるための復原方法〉をどうするかを決定することが重要であると思います。

保存修理工事中的見学は、その現場に見どころが多いので、今後また見学できる機会があれば、より多くの参加者と共に、再度見学したいと思います。



この見学会を企画していただいた研修委員会の皆さん、また案内・説明をしていただきました尾瀬さんにもお礼申し上げます。

ありがとうございました。（永井 英三）



## 青年部情報 (青年部会)

### 青年部会ファミリーツアー

2月23日の日曜日、青年部会の東播ブロック交流事業が開催されました。

まだ肌寒く、天候の移りやすい時期ですが、ボーリングということで、天候に左右されることなく、無事に行う事ができました。

明石支部の山本さんと加古川の青年部会長の阪口さんがお世話をしてくださり、多数の出席者でワイワイと良い雰囲気であったと思います。



ファミリーを交えての交流とのことで、我が家を含めて数組の家族が集まりましたが、普段近くても、お会いすることのない明石支部のご家族も居られ、いつもとは少し違った交流会となりました。

今回は総勢 17 名の方が参加されました。

人生でボーリングをした事自体数えるほどしかない私ですので、大した点は取れませんでした。子供に珍しい遊びをさせる機会になりました。

女性陣には、皆で楽しく競い合うにはちょうどよいハンデもあり、トップ3に、2名の女性が入り、その内の1人に、妻が入ることになりました。

最後には、集計された得点により、景品が準備されていました。私は子供がいずれ喜ぶであろう色鉛筆セットを獲得させていただきました。

今回もお集まりの皆さん、お疲れ様でした。

また、お世話を下さった方々、ありがとうございました。

( 青年部会 副部会長 金尾 祥吾 )



## ええはなしやん

第 58 回

### 文化財修理あれこれ

まだコロナで大騒ぎになる前の平穏だった1月19日、太子町に所在する斑鳩寺庫裏の保存修理工事の現場見学会を開き、支部のみなさんにお越しいただきました。

現在関わっております斑鳩寺は聖徳太子建立の寺と知られた名刹で、長い歴史をもつ古刹です。天文10年(1541)に尼子氏と赤松氏の戦乱期に建物は焼失したため、現在の建物はそれ以降に再建されています。

伽藍内では、三重塔が一番古く、高さと軒の遞減のバランスが絶妙で、他の三重塔に比べても美しい建物で、重要文化財に指定されています。

また聖徳殿という建物があります。3つの部分で構成され、前殿は江戸時代の建物で県指定文化財、中殿・後殿は大正期に造られ、三層の屋根を持つ八角円堂で、国登録文化財になっています。法隆寺夢殿を模したとも言われ、明治・大正期に東本願寺御影堂などを手掛けた名棟梁伊藤平左衛門が手掛けています。八角なので、組物も複雑になりますが、その納め方には感心します。伽藍にはその他にも多数の指定文化財があります。

現在進行中の県指定文化財斑鳩寺庫裏保存工事は、県や太子町の補助を受けて6年の歳月をかけて修理を進めています。文化財修理は、建築の中では少し特殊な分野かもしれません。新築とはまた違ったアプローチが必要なこともあります。

これより何回かに分けて、文化財修理のあれこれをご紹介していきたいと思います。

今回はご挨拶まで。

(尾瀬 耕司)

## 編集後記

今回は、新型コロナウイルスの影響により、総会後のいつも楽しい懇親会が中止になりました。宴会（アルコール？）好きの私としては、寂しい限りですが、オリンピックも延期になる世の中ですから、今回ばかりは仕方ないことだと思います。

私たち建築士として、この新型コロナウイルスに限らず、これからも発生してくるであろう新種のウイルスや気候の変化による災害にどう対処していくのか、次世代を担う子どもたちを、家族を、自分自身をどのように守っていくのか、問われているような気がします。

秋田副支部長が、初めの挨拶でお話されているように、総会には、『時節柄ご自身の保身が第一』ですが、『お一人でも多く』ご出席いただきたいと思えます。

新年会と新春ボーリング大会の記事を書きましたが、残念ながらお二人写真を掲載できず、申し訳なく思っています。

「県指定文化財斑鳩寺庫裏保存修理工事」見学会の記事では、永井さんに上手くまとめて頂いてどんな見学会だったかよくわかり、私も参加していましたが、より勉強になりました。

青年部の皆さんは本当に仲良くされていて、そんな情報を載せることができ、こちらも楽しくなります。

情報を寄せて頂き、ありがとうございます。

“ええはなしやん”では、神戸建築文化財研究所の尾瀬さんに『文化財修理は、建築の中では少し特殊な分野かもしれません』とおっしゃる内容をこれから何回かに分けて、文化財修理のあれこれと題して、書いていただけることになりました。

個人的にも大変楽しみにしています。“ええはなしやん”は、個人的な話から皆様の耳に入れたらためになるのではという話まで、幅広く会員の皆様からの“ええはなしやん”を載せていきたいと思えますので、情報をぜひお寄せください。

（広報委員会委員長 高橋 賢吉）

---

※ 総会出欠・委任状は添付のハガキにてお願い致します。

※ 委任状は出欠にかかわらず署名押印をお願い致します。

## 連絡申込書

メールかFAXで送付してください。（郵便も可）

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。（個人情報保護法に基づき管理致します）

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部  
事務局／吉備建築設計室内 Tel,Fax 079-423-6350  
支部長 小西 敏文 直通 TEL：090-7889-2626  
E-mail：kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com



# 支部だより

令和2年7月  
第84号

## 「日々是好日」

今年も暑さに負けず頑張りましょう

7月に入って2週間余り続いた長雨もようやく小休止し、これで天気も気分も少し明るくなると思ったら、新型コロナウイルスの黒い雲がじわじわと迫って来ています。足の裏のご飯粒が、靴の中の砂粒に進化したようでなんと落ち着きません。

また熊本をはじめ各地で起こった豪雨による土砂崩れ、家屋の浸水や水没のひどさを見ると、本当に心が痛みます。被災された方には心からお見舞い申し上げます。

天災、疫病が人々の生活を脅かすこの状況はいつまで続くのか、重苦しい毎日です。

ところで先日、「日々是好日」(にちにちこれこうじつ)という映画をネットTVで観ました。樹木希林が茶道教室の先生、その教室に通う生徒の黒木華がお茶の魅力に気づき、「雨の日は雨を聴く。雪の日は雪を見て、夏には夏の暑さを、冬は身の切れるような寒さを。五感を使って、全身でその瞬間を味わう。」内なる自由と生きる喜び、そして、かけがえのない人と今に感謝するといった内容の映画でした。改めて自分は、毎日が良い日となるよう努めているか、自問、反省してしまいました。それにしても、現実の自然も映画ぐらい穏やかであったらと思います。

さて、もう少しすれば梅雨も明け、厳しい夏が今年もやってきます。禅語の「日々是好日」の解釈はいろいろでしょうが、暑さに負けず頑張りましょう。

(支部長 小西 敏文)



高砂市立図書館名誉館長事業 映像ゼミの様子  
「ええはなしやん」より

## 納涼懇親会”のご案内

毎年恒例の令和初の『納涼懇親会』を8月7日(金)に執り行います。

支部会員の交流と親睦を深める行事であります。皆様におかれましてはお忙しい事と存じますが、会員が寄合「ワイワイ」「ガヤガヤ」ジョッキ片手に暑さをふっ飛ばしましょう。

奮ってご参加くださいますようにご案内します。

日時 令和2年8月7日(金)

午後7時より 開始

場所 東加古川 旬彩ダイニングあし跡  
加古川市平岡町新在家2-274-4  
サンロードビル 1F

参加費 ￥4,000円

申し込み期限 令和2年7月30日(火)

申し込み方法 4面よりお申込みください。

当日連絡先 竹下 090-7113-1380

なお、雨天決行です。

東加古川駅南口より徒歩4分です。



## 令和2年度 加古川支部（第57回）通常総会 （書面議決）の結果報告

会員の皆様には、新型コロナウイルス感染予防の観点から本年度の通常総会を（書面議決）により行ったことにご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

令和2年4月25日を締切としてご返送いただきました書面表決書の結果、すべての議案について、下記のとおり過半数の賛成をもって可決されましたことを報告します。

（支部長 小西 敏文）

1. 通常総会（書面議決）  
書面表決者：72名、棄権：38名  
※ 「兵庫県建築士会定款 第17条1項」  
総会の決議は議決権の3分の1以上の規定により、会員110名中、書面表決者（72名）で定則数を満たし、総会（書面議決）が成立しました。
2. 議案の表決  
第1号議案  
令和元年（平成31年）度会員動静及び財産の報告  
賛成：72、反対：0  
  
第2号議案  
令和元年（平成31年）度事業報告  
賛成：72、反対：0  
  
第3号議案  
令和元年（平成31年）度収支決算承認  
賛成：72、反対：0  
  
第4号議案  
会計監査報告  
賛成：72、反対：0  
  
第5号議案  
令和2年度事業計画（案）  
賛成：72、反対：0  
  
第6号議案  
令和2年度予算（案）  
賛成：72、反対：0
3. 結果  
すべての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。

## 兵庫県建築士会ホームページ 掲載建物等の推薦募集について

県本部事務局より、兵庫県建築士会ホームページ冒頭に掲載する今年度以降の建築物や街並み写真の提供依頼がありました。

会員の皆様には、加古川支部管内（2市2町）であなたが気になる建造物、街並み、景観などをご推薦ください。（個人住宅は不可）

建物所有者の掲載許可が必要な場合は、本部事務局が取りましますので、多くの方からのご推薦をよろしくお願いいたします。

なお、理事役員の方には、1件以上の責任推薦をお願いいたします。

採用された方には、今後予定している懇親会等で優待をさせていただきます。

1. 推薦期限  
令和2年8月16日（日）まで
2. 推薦方法  
支部長小西または副支部長吉備まで、メールまたは電話等でご推薦ください。

支部長 小西 敏文

TEL：090-7889-2626

E-mail：akitaka2yuuki3@leto.eonet.ne.jp

事務局／吉備建築設計室 副支部長 吉備 考司

TEL：090-3054-7121

FAX：079-423-6350

E-mail：

kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com

## 一級建築士試験 試験監理 に携わって

去る7月12日（日曜日）一級建築士の学科試験が行われました。

例年でしたら会場は神戸市外国語大学ですが、今年は新型コロナの影響でポートアイランドのポートピアホテルに変更されて実施されました。

電車で行くつもりをしていたのですが、何人が揃って乗り合わせて行きましようとお誘いを受け、朝6時30分に集合して4人（写真添付）で色々な話をしながら、往復の車中とても良い時間を過ごしました。

現地では感染症対策として、受験生に対しては離隔距離に配慮された座席の配列になっており、私たち監理員はマスク・ゴム手袋・フェイスシールドに加えて、ひとり1本ずつアルコール消毒液を腰にぶら下げて、適宜手指の消毒をしながら業務を遂行しました。

様々な資格試験の中止が発表される昨今、そんな中ではありますが建築士の試験が実施できて本

当に良かったと思います。この日の為に色々な事を犠牲にされて準備してこられた受験生にとって、例え結果が悪くても気持ちの整理ができるので、試験実施を決定された試験元には感謝の気持ちでいっぱいです。

自分の置かれている様々な立場を調整し、机に向かうまでに多くの御苦労が皆様にもあった事と思います。私の場合は長女が3歳になる年から、三女が1歳になった年まで、数年掛けてこの試験をパスしましたので、その頃の自分を振り返りました。特に熱心に問題に取り組まれているその頃の私と同じくらいの年齢の方を見かけると、色々な事が思い出されました。

謙虚な気持ちで努力する事の大切さを、この試験は私に教えてくれました。

(広報委員会副委員長 石野秀昭)



一級建築士試験会場 ポートピアホテルにて

## ええはなしやん

第 63 回

### 時空を超えて高砂の魅力を余すことなく空から切り撮る

私の参加する、高砂市立図書館名誉館長事業の映像ゼミは高砂市立図書館の数ある事業の一つとして、2018年から始まりました。ゼミ生は市内に限らず公募し、10名ほどが毎月図書館に集まって開催しています。

高砂は他府県の方々、そして県下の市町の方々にどれほど知ってもらえているのだろうか？また高砂市民においても、足元である高砂について、まだまだ知ってもらいたいことが沢山あるのではないかと考え、市内外に広く情報発信して行こうとスタートを切りました。

ゼミの指導は、皆様よくご存じの兵庫県の文化財課に在籍しておられた村上裕道(高砂市立図書館名誉館長)さんです。

おなじ情報発信であれば、普段見ることのできない視点で紹介した方がおもしろいのではと、ド

ローンでの空撮や、4Kカメラ(大解像度)を用いて映像を駆使した作品に取り組んでいます。ビジュアル的には動画(YouTube)のネット配信を念頭に、音楽とナレーションを交え放映時間は15分以内と決めて制作をしています。

2018年度は高砂を代表する石の宝殿、竜山を紹介することが当然の如く決定されました。

高砂市内の歴史や文化、観光や産業、そして人物などにフォーカスし、細やかに伝える為にも、単発ではなくシリーズ化としています。メインタイトルは「たかさご八景」。今後の作品にもタイトルをつけていきます。景観や風物詩などでは「近江八景」に代表され、全国で昔も今も用いられている言葉が「八景」です。シリーズにはそれぞれサブタイトルがつけられています。

最初は(VOL.1 竜山編)、2019年度は(VOL.2 高砂浦・堀川湊編)、そして2020年度は明治期に近代化に大きく舵を切った地方(阿弥陀町)での歴史的遺産である建造物を中心に映像化を進めています。サブタイトルはまだ決まっていません(VOL.3???編)。

高砂には八つの町があります。シリーズ化された情報を発信する作品からは、市内の八つの地域(八景)も合わせて紹介する目論見も入っています。これら完成した作品を高砂の観光ツール、教育的見地から地域感教育ツールとして用いていただければ嬉しいです。

時間が許せば是非ご覧ください。

YouTubeで「たかさご八景」と検索ください。

(吉田 文男)



神戸新聞記事より 建築家吉田文男氏「普段は見られない景色をきっかけに、高砂に興味を持ってほしい」

## お知らせ（予告）

研修委員会 増田正幸委員長  
見学会を11月に行う予定です。

厚生委員会 長尾淳一委員長  
納涼懇親会 ご参加をお願いします。

青年部会 阪口晴彦部会長  
2級建築士設計製図講習会がはじまりました。

## 編集後記

支部長のご挨拶の中に「日々是好日」という言葉がありました。ウィキペディアによると読みとして、禅語としては「にちいちこれこうにち」と読むのが正しいとされるが、「にちにちこれこうじつ」とする例もある。日常的な表現としては、「ひびこれこうじつ」とも読み、その読みで作品名などになっている例もあるが、同様に「ひびこれこうにち」、「ひびこれよきひ」とする例もある。と書かれていました。

私は「ひびこれこうじつ」と昔から読んでいたのですが、物事は何でも一つではないなあと学ば

せていただいた次第です。

コロナ渦ではありますが、納涼懇親会にはぜひ新会員の方のご参加をお待ちしています。また、兵庫県建築士会ホームページ掲載建物等の推薦募集では、支部長直々に「理事役員の方には、1件以上の責任推薦をお願いいたします」とあります。ぜひ皆様からのご応募をお待ちしています。

一級建築士試験の会場がポートピアホテルと聞き、初めての開催場所の雰囲気の皆様と共有したいと石野副委員長に書いて頂きましたが、ご本人の体験を交えた生きた報告になりました。

“ええはなしやん”では、神戸新聞に大きく取り上げられていた吉田文男さんに想いを書いたいただきました。高砂市民としても嬉しい内容でした。

急な依頼にも関わらず、快く書いて頂き、ありがとうございます。

二市二町ともに素晴らしい文化伝統があるはずです。“わがまち”自慢も募集します。幅広く会員の皆様からの“ええはなしやん”を載せていきたいと思しますので、情報をぜひお寄せください。

（広報委員会委員長 高橋 賢吉）

## 連絡・参加申込書

メールかFAXで送付してください。（郵便も可）

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。（個人情報保護法に基づき管理致します）

### “納涼懇親会”

参加者氏名

緊急連絡先

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部  
事務局／吉備建築設計室内 Tel,Fax 079-423-6350  
支部長 小西 敏文 直通 TEL：090-7889-2626  
E-mail：kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com



# 支部だより

令和2年10月  
第85号

## 「今こそ建築士会が連帯する時」

日頃は建築士会の活動にご協力・応援を賜り誠にありがとうございます。

現在のコロナ感染や気候変動など地球的課題が山積する中で、建築士会でも諸活動の中止を余儀なくされております。

本来の目的である建築士の技術の向上及び業務の進捗改善に向け会員の皆様との連携を密に図り、市民の皆様が安定した生活を送れるように努めなければなりません。こうした期待に応えるためにも、建築士会の改革するべき事は改革し、強化するところは強化する。

多様な人材の皆様からそれぞれの課題を持ち寄り、まとめていく為にも！

それらを解決するためにSDGS（持続可能な開発目標）の活用意義があります。

今のような状況だからこそ建築士会の会員の皆様からのご意見を頂戴し、一体化へと取り組む意欲が大切です。

「子供たちを守り」「未来を守る」ためにも、今私たちが可能な限り、各人の諸課題に取り組むことが「新しき社会」への道しるべとなる事を確信し！

今後とも建築士会の活動へのあたたかなご意見を頂戴し、ご協力をお願い申し上げます。

(副支部長 坂上 浩司)

## 令和2年度(公社)兵庫県建築士会 加古川支部 神戸東灘 見学会のご案内

加古川支部では、神戸東灘を訪ねて明治後期から昭和初期の阪神間モダニズムの先駆となった建物を見学する企画を立てました。

香雪美術館に隣接する「旧村山家住宅」は、朝日新聞の創業者村山龍平氏の邸宅として建築された住宅です。

阪急神戸線御影駅周辺には明治後期から昭和初期に多くの豪邸が建てられています。「旧村山家住宅」もその内の一つで、洋館・和館・茶室棟からなり、洋館は明治42年、和館（玄関棟・書院棟）と茶室棟は大正7年に完成しています。敷地は広大で、土地の高低差を生かして建てられた建物と豊かな自然林に包み込まれた外観に見ごたえがありそうです。

「御影公会堂」「旧高嶋邸（甲南漬資料館）」

とも昭和初期に竣工し、設計者が同じ清水栄二氏による建物です。両施設は東灘区に建っており、灘五郷のうち御影郷と魚崎郷がある地区に位置し、戦前に花開いた阪神間モダニズムと呼ばれる文化の風を感じ取ることができる建物です。

「旧村山家住宅」は、普段は未公開となっています。今回、特別に解説付きで見学できる機会を設ける（見学は外部佇まいと庭園になります。）ことができました。

是非この機会に見学してみませんか。

(研修委員会 委員長 増田 正幸)

### 記

開催日 令和2年11月15日(日)  
集合 午前8時30分 JR加古川駅改札前  
見学先 旧村山家住宅(香雪美術館) 御影公会堂・  
旧高嶋邸(甲南漬資料館)・神戸酒心館  
募集人員 15名  
参加費 建築士会会員 1,500円  
非会員 1,800円

※ 参加費には昼食及びアルコール等の飲料代は含まれておりません。  
当日は各自コロナ対策としてマスクを着用し、昼食時は飛沫飛散防止に努めてください。  
また、旧村山家住宅敷地内高低差、徒歩移動に備えて歩きやすい軽装で参加ください。

申込締切 令和2年11月6日(土)  
問合せ等 メール・FAX または支部長に電話お願いします。(申込書下に載っています)

### 行程

8:30 集合 加古川駅改札口前  
8:51 JR三ノ宮経由 阪急御影駅へ  
美術館まで徒歩  
10:00 集合 「旧村山家住宅」(香雪美術館)見学  
12:00 JR住吉駅まで徒歩  
12:30 各自適宜昼食(住吉駅前)  
13:30 住吉駅前バス停 阪神バス移動  
上石屋バス停御影公会堂まで徒歩  
14:00 集合 「御影公会堂」見学  
15:00 徒歩移動  
15:30 集合 「旧高嶋邸」(甲南漬資料館)見学  
(見学終了後 一次解散)

- 16:30 徒歩移動
- 17:00 集合 「神戸酒心館」見学  
酒蔵 きき酒（有料）
- 17:40 阪神電車石屋川駅まで徒歩  
神戸三宮経由JR加古川駅
- 19:00 加古川駅解散（最終解散）

※ 途中別行動となる場合は事前に増田  
(090-1909-0071)までお知らせください

### 『京都府建築士会製図講習への参加報告』

毎年恒例となっています2級建築士試験製図講習ですが、今年度は初の試みとして、京都府建築士会さんの行っている製図講習会へ新型コロナウイルス感染対策の観点から、松本製図講習対策委員長と阪口の2名が、見学を兼ねて参加してきました。

参加しました8月23日は京都士会さんの1回目の模擬試験でした。

松本委員長は生徒たちに交じって、一緒に作図を行い、私は宿題の添削を京都士会さんとともに行って、勉強させていただきました。

松本委員長は時間内に一式図を描き上げており、他の生徒たちから尊敬の眼差しで色々質問攻めにあっておりました。

実際、一緒に模擬試験を受けたという仲間意識からか、他県の講師の教え方の違いに興味があるのかわかりませんが、生徒たちはここぞとばかりに質問していました。

添削とは言いますと、宿題も丁寧に描かれていて、添削の遣り甲斐がありました。その後の添削指導にも参加し、京都士会さんの手法も垣間見ることが出来ました。また、生徒たちもしっかりメモを取り本試験に向けて学んでおり、頼もしく思いました。

来年度は、兵庫士会の講習内容に変化を加えながら更なる建築士の育成に取り組んでいきたいと思います。

この度、参加にご協力いただきました京都府建築士会の皆様には、あらためて感謝申し上げます。  
(青年部会長 阪口 晴彦)

### 兵庫県建築士会ホームページ 掲載建物等の推薦募集の結果報告

「会員の皆様に、加古川支部管内（2市2町）であなたが気になる建造物、街並み、景観などをご推薦ください。（個人住宅は不可）」と募集させて頂きましたが、加古川支部として、推薦する建造物、景観など3点が決まりましたので、報告いたします。

(支部長 小西 敏文)

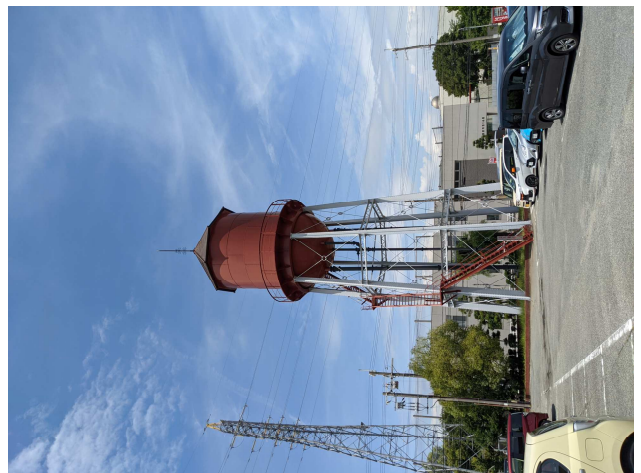
なお、「採用された方には、今後予定している懇親会等で優待をさせていただきます。」とのことでしたので、期待してお待ちください。

(広報委員会)



加古川市 神戸製鋼所

長尾淳一さん



高砂市 旧朝日町浄水場給水塔

阪口晴彦さん



播磨町 阿閩神社

金尾祥吾さん





## ホームページ復活を目指して

誰かに頼めば良かった…。この程度なら自分でできるだろうなんて安易に考え、やり始めて色々わかってくると、あれれ…うーんこれはまずい。それなりの自信があったのに、思い通りに進まない。

やっぱり餅は餅屋にまかせるべきだったかなんて思っても、もう今更後の祭り。一度やると言ったのだから、何としてもやり遂げねばと自分を奮い立たせ四苦八苦。

この度、加古川支部ホームページの復活を任せられ早数か月経ちましたが、まさにこんな気持ちで過ごしてきました。「だってプロじゃないし…」なんていう弱気な言い訳でしかない言葉が、つつい出そうになりながら、何とかアップ出来るところまで来ました。

今回の最大のテーマはスマホ対応をすることで、何とかそれもクリアし、加古川のイメージである「青」を基調とした、清潔感のあるホームページになっていると思います。

最も悩んだのが、実はホームページの中身ではなくトップページの写真をどうするかでした。加古川支部に相應しい一枚が欲しい。どこかにないか。引用では具合悪いし。さてどんな一枚でしょうか。

皆さん是非ごらんください。

リリースしてからが本当のスタート。商品を出す戦略と同じで、声を聞いてバージョンアップを繰り返すことで、より魅力のあるものに昇華させていく。

これから皆さんの声を聴き、皆さんと共により良いものにしていきたいと思います。

今回ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

ホームページアドレス

<https://kentakushikai-kakogawa.com>

(有田 和人)

## お知らせ

加古川市消防本部

### 『増改築等に関する事前相談について』

加古川市消防本部予防課より、管内で事前相談を行わず、既存建築物の増改築や用途変更をしたため、消防法令違反となる事案が散見されているとのことです。

については、別添チラシを活用し、建物関係者に増改築等の際して事前相談を行うよう協力依頼がありましたので、お知らせします。

(支部長 小西 敏文)

## 編集後記

坂上副支部長のご挨拶の表題に「今こそ建築士会が連帯する時」という力強いお言葉がありました。

コロナ禍（前回、コロナ禍と間違えて表記していました）ではありますが、「神戸東灘 見学会のご案内」に「普段は未公開となっています。今回、特別に解説付きで見学できる機会を設ける（見学は外部佇まいと庭園になります。）ことができました」とのこと。ぜひ、連帯して、参加してみたいかがでしょうか。

青年部の皆様が中心の製図講習会も回数を重ねられて、講習を受ける立場にたって、より良いものにしようという坂口部会長の想いが伝わってきます。

また、兵庫県建築士会ホームページ掲載建物等の推薦募集では、支部長が「採用された方には、今後予定している懇親会等で優待をさせていただきます」ということを書かれていましたので、懇親会ができる環境になりましたら、楽しみにして頂ければと思います。

「ええはなしやん」では、有田さんに生みの楽しみ（苦しみ？）を書いていただきました。

生みの苦しみは、生み出した後は楽しみになると思います。「リリースしてからが本当のスタート」「声を聞いてバージョンアップを繰り返すことで、より魅力のあるものに昇華させていく」「これから皆さんの声を聴き、皆さんと共により良いものにしていきたいと思います」とのことです。ぜひご覧頂きたいと思います。

理事会でホームページの話が出たので、有田さんに記事の依頼をしたところ、ホームページ作成で忙しい中、書いていただきました。ありがとうございます。

お知らせ 加古川市消防本部『増改築等に関する事前相談について』は、アドレスをお持ちの方はメールで届いていると思いますが、見逃した方やお持ちでない方のためにスペースがありましたので掲載させていただきました。

(広報委員会委員長 高橋 賢吉)



建物（一般住宅を除く）には、消防法により様々な防火安全対策が求められています。

例えば、住宅を宿泊施設に変更する場合や新たに庇（ひさし）を設け面積が増える場合などは、自動火災報知設備、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備などが新たに必要となることがあります。

それらを知らずに工事をした場合、新たな消防用設備等の設置や工事のやり直し、増改築部分の取り壊しなど、想定外の出費にもつながりかねません。 そうならないためにも、

### 加古川市 稲美町 播磨町

の建物の用途変更や増改築などをお考えの際は事前にご相談ください。

問い合わせ先 予防課 079-427-6534

**加古川市消防本部**

「雨に濡れるから、工場と倉庫をつなげたいんだけど・・・」

「空き家を再利用して、福祉施設をやりたいんだけど・・・」



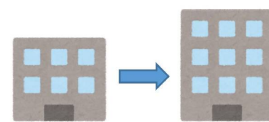
建物関係者の皆様へ

## 消防法違反になっていませんか？

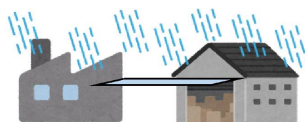
建物の工事（増改築）をおこなう際や、新規テナント開業の際は、

## ひとまず 事前相談 を!!

### 増改築などの具体例

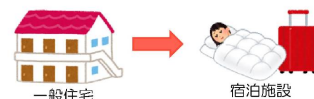


階の増築



建物同士の接続

### テナント変更などの具体例



宿泊施設



福祉施設



店舗の入居

## 連絡・参加申込書

メールかFAXで送付してください。

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。（個人情報保護法に基づき管理致します）

### “神戸東灘 見学会”

参加者氏名

建築士会会員

参加者氏名

非会員

緊急連絡先（代表者）

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部  
 事務局／吉備建築設計室内 Tel,Fax 079-423-6350  
 支部長 小西 敏文 直通 TEL：090-7889-2626  
 E-mail：kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com

